

號 七 十 第

報 部

日 一 十 二 月 二 年 三 十 和 昭

○時局と水産施設 <small>(殖産局水産課)</small>	○海南島の展望と支那事變 <small>(臨時情報部)</small>	○地方情報 <small>(臨時情報部)</small>	○美談集録 <small>(臨時情報部)</small>
-------------------------------------	--	---------------------------------	---------------------------------

附錄 事變日誌

府 督 總 灣 臺

部 報 情 時 臨

昭和十三年二月二十一日發行
（每月一日、十一日、廿一日發行）





生活に

現はせ活かせ

日本精神

長期戦に

持久の覚悟を

臺灣總督府 精神總動員本部

時局と水産施設

殖産局 水産課

今次の事變に方り本島水産界に在りても壯丁の出征、漁船の〇〇〇〇服役等盡忠報國の至誠を捧ぐるの外、内に在つては魚食國民榮養の資たる水産物の供給に遺憾なきを期せんが爲に全力を擧げて活動を續け來つてゐる。

然るに今後に於ける時局の推移を思ふとき南支南洋を對象とする本島水産業に在りては一層其の責任の重大なるを痛感するものである。則ち對支水産業に關する方策、海洋漁業經營の重要部分を占むる漁船燃料の高騰に處する對策、漁船乗組員及漁船の減少に處する對策、水産物需給の回滑に處する對策等時局遷延に伴ひ益々之が調整を要するもの數へ來れば枚擧に遑ないのである。

本府に於ても事變突發以來努めて時艱克服に専念し、漁業用燃料油の消費節約並に漁業經營費の低減方に關する方策、漁船無線の普及に伴ふ通信士の養成、漁船乗組員並に漁業關係者に對する軍事知識の普及等何れも非常時局に對處して之等緊要施設の助成を爲し來たのであるが其の實施概要を述べれば次の通である。

(一) 漁業用燃料油節約並に漁業經營費低減に關する施設

漁業用燃料油の輸入免税撤廢並に漁業用燃料節約に關する國策に順應する爲本府に於ても昭和十二年度豫算に之が經費を追加計上して概ね左記要領に依り之が助長發達を期してゐる。

記

(1) 重油機關化に對しては中型以上の漁船には「ディゼル」機關、小型漁船には燒玉式機關の据付を奨励する方針を執り之等改良者に對しては其の經費の約三分の一相當額を補助し極力燃料の節約に努めてゐる。

(2) 重油免税撤廢に因り漁業經營費の急激なる膨張に鑑み漁業經營の合理化に依り經費の低減を計る爲め地方應に專任の指導職員を設置せしむる爲め本府は右指導職員設置費に付き州費に對しては其の半額を、應費に對しては其の全額を補助する事として之が實績を期してゐる。

(二) 無線電信通信士養成施設

遠洋漁船に軍事上、産業上無線電信の必要なることは云ふまでもないことである。然るに本島に於ては無線通信士の雇傭が頗る困難とされてゐる。従つて無線電信の裝置を必要とする船舶に在つても今尙之が施設を見ざる實情に在るのである。されば無線電信施設の積極的奨励と通信士の養成は相關的に刻下の急務であり又業界多年の要望である。依て臺灣海務協會は斯種計畫に對し補助金を下附し之を支援することとした。而して其の實施要綱は次の通である。

記

一、主催者 臺灣海務協會

二、目的 無線電信第三級通信士の養成を爲すを以て目的とす

三、講習員資格 (1) 身體強健にして海上生活に耐ゆる内地人にして手指及聽力共健全なる者 (2) 高等小學二年卒業程度の學力を有し英語の初歩を解する者

四、修業期間 第一學期三箇月 第二學期四箇月

五、課目及授業時間

課目	第一學期 (每週時間)		第二學期 (每週時間)	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
無線學	三	四	二	二
無線實驗	二	五	四	二
電氣理論	四	一	一	一
電氣機械	一	七	一	一
電氣通信術	七	四	一	一
無線法規	四	一	一	一
英語實踐	二	二	二	二
英語及國語	四	一	一	一
修身及國語	一	一	一	一
通算	二	二	二	二
合計	三七	三七	三七	三七

六、試験及檢定

右第一及第二學期末に夫々試験を行ふ。以上試験終了者は第三級通信士檢定試験に應ずる資格を有するものとす。

七、講習生の義務

講習生に對しては本講習終了後檢定試験に合格の上は無線通信士として滿五箇年以上臺灣在籍又は臺灣を根據とする船舶に乗船服務すべく保證人連署を以て誓約せしむ。

八、實驗並練習設備

實驗並練習の爲左記の通設備を施し支障なからしむ。

- (1) 漁船施設真空管式送受信機 一組
- (2) プザー音響機及練習用電池 二十一箇
- (3) 練習用印字機 二臺
- (4) 波長計、抵抗測定機受話機等實驗器具 一式

九、講師 講師は各課目に通曉せる専門の適任者を囑託す。

(三) 軍事講習會

惟ふに海洋を職場とし帝國々防の最前線に出勤して日夜勞務に服する漁船乗組員に海技の向上發達を助成し併せて軍事知識を涵養せしむることは平時に於ても之が必要を認むる所であるが、現下の時局に於て一層其の緊要性を痛感する所である。茲に於て本府は今次事變突發するや軍部當局と協力して臺灣水産會の左記計畫に對し補助金を下附して之を支援したのである。

一、主催 臺灣水産會

二、目的 漁船員及漁業關係者に海技並に軍事知識の講習をなし平時、戦時を通じ漁業關係者の機能の増進を計るを目的とす。

三、場所 馬公要港部内 左記に該當する内地人

四、講習員資格

- (1) 水産試験船乗組員中高級船員二名乃至三名
- (2) 無線電信を有する漁船乗組員中船長、機關長、通信士
- (3) 前項以外の大型漁船中適當と認むるものに付高級乗組員二名乃至三名
- (4) 會社、組合の幹部、州廳の關係幹部

五、期間 自昭和十二年九月十五日 至同 年九月十五日 七日間

六、講習科目

- (1) 航海術 (2) 信號術 (3) 見張術 (4) 通信術 (5) 兵科

七、講師 馬公要港部員に委嘱す。

八、講習員數 四十二名

上述の如く水産當局としては應急の措置として漁船燃料節約に關する重油機關化の獎勵並に漁業經營費低減に關する指導員の設置補助を爲すの外漁船乗組員軍事講習を開き又一方通信機能の擴充を圖り以て時局に則したるのであるが、尙今年度に於ても右の外船員船匠講習會補助、大型漁船の増加及内地優良漁民の招致に對する獎勵、南支那海開拓の助成等時局に鑑み生産力の擴充に對し一層力を致す豫定である。

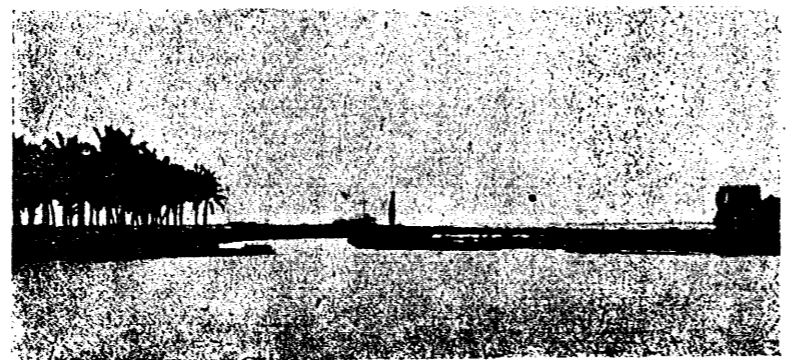
海南島の展望と支那事變

臨時情報部

一 海南島の展望

海南島は我が臺灣の西南、廣東省雷州半島の先端にある楕圓形の島であります。同島は東及南は南支那海に臨み、北は雷州半島と海南(雷瓊)海峡を作り、西は佛領印度支那と共に東京灣を圍んで居ります。尙ほ同島は遠く南洋群島及比律賓と相望み、南洋方面と我が國との中間に位して、軍事上、經濟上重要な地點として等しく諸國注目目的となつて居ります。

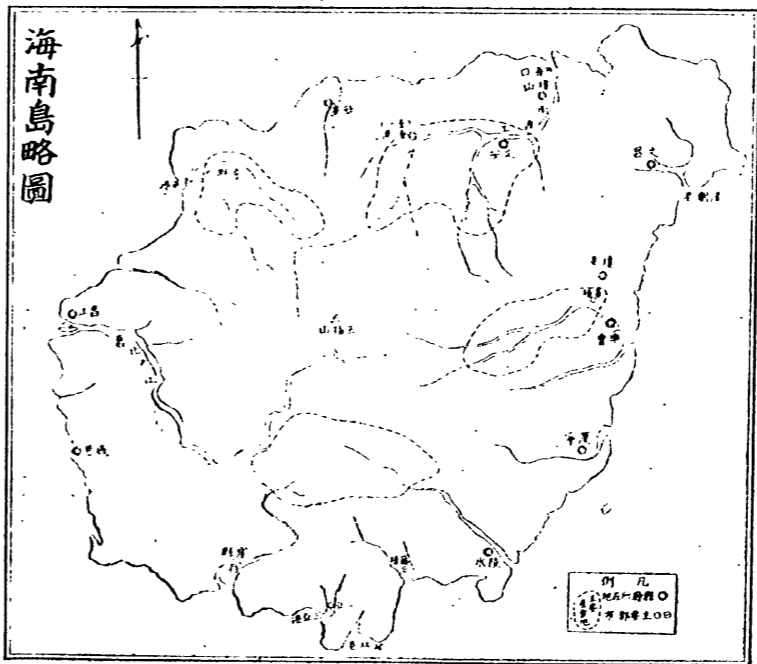
面積は精確な調査はありませんが推定一三、九〇〇方哩と云はれ臺灣に比して稍大きい島です。耕地として現在利用されてゐるのは約八%に過ぎない状態でありますが尙約三〇%の平地が未開地、荒地或は廢地として残されて居ります。山嶺一帯を包



海口海

含せる約五〇%の地域は森林地で、特に中央部は山深く所々に密林を見ます。地勢として中部は高く海濱は低く釜を覆せた様な形で五指山が中央に聳え、四方に方斜線の様に山脈が起伏してゐて其間を大小約二十に近き河川が四方の海に注ぎ、或ひは水運の便に或ひは耕地への灌漑等に利用されてゐます。

大海中に屹立してゐる同島は四面汪洋、海岸線の延長實に二千餘支里もありますが開發された良港が少い。天然の良港としては東部の清瀾港、南部の榆林港、西北部の新英港の三港をあげる事が出来ませんが人工を加へなければ現在では役に立ちかねます。特に名の知られてゐる海口港は良港とは云はれませんが現在では本島第一の貿易港であります。



人口は二百二十萬人と云はれ大部分は支那人で内約三十萬の生蕃と極少數の外國人が居住して居ります。



五指山の遠景

支那人は福建、浙江より移住した者が多く次が廣東、廣西の移民であります。特に福建省泉州人の勢力が盛で殆ど全島の商權を獨占してゐると云つてよい位です。従つて言語も福建語(廈門語)に近くこれより轉化した所謂海南語が中心であります。生蕃と云はれてゐるのは苗族と黎族で、苗族は支那の原住民族と云はれてゐる種族で後世廣西より同島に移住したと云はれ今尙ほ山間僻地に流浪の旅を續け原始的生活を營んで居ります。黎族は旗黎、倅黎、漢黎の三つに分れ我が臺灣の蕃人の様な種族であります。文化の程度低く漢人の渡來と共に山地に驅逐された者で山地に住居を構へ生活を營んで居ります。今日進歩した者は支那人と接觸交渉をしてゐて、服裝も又之に倣ひ俗化してゐる者もあります。其總數十六萬餘と云はれてゐて、今尙ほ男女共刺青の風習が残つて居ります。

今日同島は行政的に見て海口市と瓊山、文昌、澄邁、瓊東、樂會、安定、萬寧、陵水、臨高、儋

崖、昌江、及感恩の十三縣に分れて居て、廣東省の南區善後公署が之を統轄し、署内には參謀長外各種軍事、行政機關が在つて同島の軍事行政を司つてゐます。

各縣には縣公署が在つて地方行政にあづかつて居ります。教育機關は北部瓊山が中心となつてゐて、小學校、中學校、師範學校を最高學府となす程度のものであります。其他外國宣教師團の經營による中女學校がありまして、之は設備も頗る整頓してゐて地方の文化教育に資してゐります。

海南島の重要性の一つはその資源の豊富な點に在るのであります。先づ農産としては米・甘蔗・甘藷・芝麻(胡麻)・茶・煙草・落花生・綿花・大麻・黃麻・苧麻・靛青・カッサバ・椰子・檳榔・其他柑橘・芭蕉・ゴム・珈琲・天豆等多種類に上り耕法の改良と投資の工合に依つては將來相當有望な物が多くあります。

林業に於ても良材豊富を以つて知られ、又鑛産の埋藏に於てもその豊富を豫想せられて居ますが、現在まで僅かに一部銅・鐵・金・炭鑛の調査を見たのみで多くは専門家の調査をまつてゐる状態であります。海岸の各港は漁業の中心となる外製鹽地多く年産約五八九、〇〇〇擔に達して居ります。



海 港 の 概 観

工業として製油、罐詰及び製糖等ありますがいづれもその製法が幼稚舊式であります。

同島の貿易は主として海口港に於て行はれてゐます。其取引は本島土着商人、移民、外國人等に別けられますが其中心となつてゐるものは福建移民であります。邦商も過去三十年の歴史を持つてゐましたが、蔣政權の排日壓迫政策により次第に衰へ閉鎖のやむなきに至りました。

次に同島の都邑に就て述べてみませう。同島には市と稱するもの百五十以上もありますが第一は海口市であります。

一、海口は同島第一の長流南渡江口より約二哩の上流にある人口五萬の貿易都市で全島經濟の中樞的位置に立つて居ります。外國の汽船會社、石油會社等の支店、代理店があつて經濟的威力を誇つて居ります。邦人としては三十年の歴史を持つ勝間田洋行、丘陽堂等がありました。閉鎖されました。

同港は其設備悪く船著きに非常に不便であります。海口市の背景に年約四百餘隻の汽船と約四千五百餘艘の戎克の出入を算して居ります。輸入品の主なものは石油、綿絲布、洋果其他雜貨で積出品の主なものは薪炭、生豚、牛皮、米穀、落花生、砂糖、胡麻等で全島經濟の大部分を



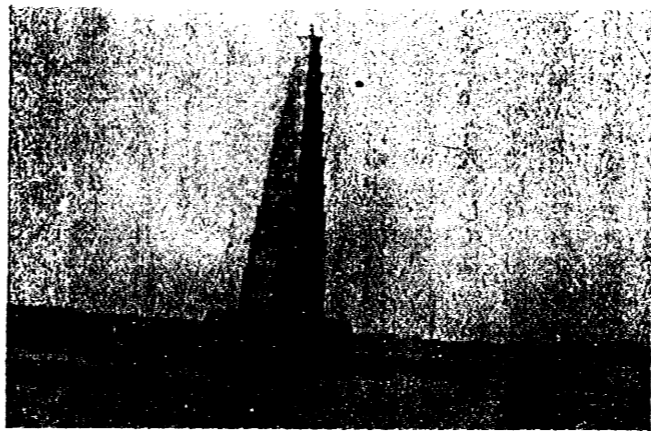
海 港 の 概 観

取扱つて居ります。

二、瓊山は南渡江口より約五哩の上流左岸にある縣廳の所在地で全島政治、教育の中心地であります。人口は約五萬で曾つては全島經濟の中心地でありました。現在はその地位を海口に奪はれ寂しくなりましたが本島第一の都市である偉觀は失はれてゐません。

三、清瀾港、同港は本島の東岸文昌縣城の東南にある港で港内水深く二十尺乃至四十尺で廣さは狭い所で半哩廣い所で一哩もあり巨船數十隻を碇泊させるに足るといはれてゐますが、只港口に珊瑚礁があつて出入の自由をうばはれてゐます。他日奥地の開發、交通の便が開け同港の設備に手を加へるならば同島第一の良港になり經濟の中心になるのは容易な事であると云はれてゐます。

四、榆林港は本島の南岸崖縣城の東方にあり内外の兩港に分れて水深く港も廣く良港と云はれてゐます。尙當港は奥地産業が今なほ開發されてゐないのと匪賊の跳梁、交通の不便とによつて商港としては認められてゐませんが、早くから南支軍事上の重要據點として認められてゐ



新英附近の燈臺

て當港に對して諸外國が食指を伸ばした例も少くありません。

次に港としては新英港、三亞港等、都市としては文昌市、陵水市、安定市、金江市、藤橋市等地方の中心としてあげる事が出来ます。

今同島に於ける事變の推移を見まするに蔣政權の排抗日政策は早くから同島にも及び抗日思想教育の進展は頗る無い同島子弟の腦裡に深く刻まれ、一般指導階級の煽動と相俟つて刻一刻排日思想は熾烈となつて在留邦人は生活をなし得ないまでに壓迫を受け遂に其跡を斷つに至つたのであります。

元來同島は廣東軍の指導下にあつて事變勃發と共に同島の警備に留意し海口の防備を固め砲壘を築いたのであります。其他各地方政府に對しても海岸の防衛を嚴ならしめてゐたのであります。

九月五日我が海軍により全支沿岸の封鎖が斷行されるや同島の沿岸も封鎖され孤立の状態にされたのであります。其後不敵にも我が警戒線を破つて密行せんとする者がありましたので九月十六日の我が海軍による海口砲撃となつたのであります。我が皇軍正義の手による第一回の砲撃でありまして、折柄の満潮を利用して港内に進入した我が軍艦は附近に設けられた軍事施設に對し猛撃を加へたのであります。我が海軍が良民に及ぼす危害を慮つて手心を加へたのをよい事にしてなほも蠢動し我が警戒線を亂す者がありましたので九月二十八日第二回の海口砲撃となつたのであります。海口附近に近よつた我が軍艦は一齊に砲門を開き軍事施設砲壘等に徹底的砲撃を加へると共に抗日分子煽動者の心膽をも震駭させたのであります。

次いで本年に入り我が砲撃の手が弛められると抗日分子が蠢動を始め、一月十三日の我が空軍によ

る海口及瓊州の爆撃となつたのであります。抗日煽動者に對しそのすきをあたへず、我に反する者は討つ、服する者は東洋平和の立場からこれと手を握り公明正大な今次出師の精神に則り堂々と行はれたのであります。

其後方向をかへて南沿岸の方に支那戎克船の密航があつて封鎖線を亂す者があるとの情報があつて嚴戒中、一月十九日榆林港附近に至ると同港内に多數の戎克の碇泊してゐるのを發見したのであります。我が軍艦は當然の權利として是等戎克に對し臨檢を行はなため臨檢隊を内火艇及カッターに乗せ港内の戎克に近づかんとしたのであります。突如港内の陸岸及倉庫より機銃及小銃の一斉射撃を受けたのであります。之を見た我が軍艦は直ちに反撃を加へ臨檢隊員を無事收容すると共に是等敵陣地に對し一層猛撃を浴せ粉碎したのであります。

地方情報報

○成人總動員實施要項

臺北州臨時情報部

一 主旨

本州下の成人(家長主婦)を總動員し時局に則應する指導訓練を實施し尊皇愛國獻身奉公の勇猛心を喚起し一致團結協力奮闘以て皇運の扶翼に邁進し特に左記各項の實現を期す。

- (一) 尊皇愛國精神の強調
- (二) 皇國民化運動の徹底
- (三) 時局認識の正確徹底
- (四) 公共奉仕精神の強化
- (五) 銃後守護の充實

二 指導訓練期間及日數

指導訓練期間

昭和十三年二月十一日より同年四月三日まで

指導訓練日數

五日以上(市に於ては三日以上)

三 總動員すべき成人

(1) 保甲に於ける家長主婦を左の二部に分ち動員す。

第一 家長部

滿二十五歳以上の家長とす(事實上家長の實權を有する者とす)

第二 主婦部

滿二十五歳以上の主婦とす(事實上主婦の實權を有する者とす)

(2) 總動員區域別及實施場所

部落振興會の區域又は保を單位とし實施場所は公學校、部落集會所、保甲事務所其他適當なる箇所を選定するものとす。

(3) 組織

各部共各區域別に凡そ十名を以て一班となし數班を合して一隊となすべし。但し班及隊には夫々長一副長を置くものとす。

四 總動員の告知

總動員の告知發送は市尹街庄長名を以てすべし。

五 指導訓練擔當者

各隊の指導者は學校職員、警察職員、役場職員及地方有識者とす。

指導隊長は郡に於ては郡守之を委嘱し市にありては市尹、警察署長協議の上決定委嘱すること。

地方在任者中より國語解者にして信望ある者を選び助手たらしむべし。

六 世話委員

部落内の有力者若干名を選び世話委員を命じ率先範を示すの風を馴致すべし。

七 指導訓練事項

- 精神講話 一時三十分間
- 時局講話 一時三十分間
- 部落振興講話 一時間
- 國民行事訓練 一時間
- 衛生保安講話及訓練 一時間
- 團體訓練 一時間
- 國語指導及國民作法訓練 一時間(女子二時間)
- 勤勞奉仕運動 二時間(女子一時間)

八 指導者訓練

指導者及指導助手並世話委員に對しては豫め主旨及指導訓練計畫の概要を會得せしむる様適切なる

方法を講ずること。

九 視 閲

市郡役所職員及警察署職員は随時訓練状況を視閲するものとす。

一〇 其 他

之が實施に當りては左記に留意すべし。

- (1) 保甲との連絡を緊密にすること。
- (2) 職業能率の低下を努めて防止するを旨とし實施時期、場所を考慮すべし。
- (3) 指導隊長、指導者、指導助手、世話委員には夫々適當なる徽章又は腕章を附すること。
- (4) 指導隊長は各班に對し街庄長は各隊に對し適當なる激勵方策を講ずること。

○支那事變に關し執りたる措置

臺南州臨時情報部

一 臨時勞務部支部の設置

支那事變に依る充員召集及生産の擴充又は促進に伴ひ生ずべき重要工場又は事業場に於ける勞務者の需要供給の調整及技術職員職工の養成を一元的に統轄すると共に併せて本部との連絡協調を圖り以

て所期の目的を達成する爲昭和十三年一月二十日臨時勞務部臺南州支部を設置せり。

二 軍事扶助法に依らざる扶助狀況調

臺南州軍事扶助委員會及各郡市支會は緊密なる連絡の下に要扶助者の發見慰問等本事業の目的達成に不斷の努力を拂ひつゝあり。

三 紙芝居講習會の開催

曩に國民精神總動員本部に於て、紙芝居に依り一般島民に對し時局に對する正しき認識を與へ國民精神作興に資し併せて臺灣芝居等皇民化の徹底上障害となるべきものに代へしめんとする目的を以て教材を作製し、各街庄に配付せられたるに付臺南州に於ては之が趣旨の徹底並に取扱の實際を授くる目的を以て昭和十三年一月二十九日三十日の兩日臺南市末廣公學校に於て講習會を開催せるが講習員は郡市街庄社會教育係員、小公學校職員其の他社會教育關係職員等百九十二名に達せり。

四 建國祭の執行

本州及臺南市合同主催の建國祭は二月十一日午前十時十分より臺南市綜合運動場に於て軍隊を始め各官衙、學校諸團體其の他市民二萬餘名參列の下に最嚴肅且つ盛大裡に執行せり。終了後更に軍隊を先頭に市内行進をなしつゝ臺南神社に參拜の後解散せるが尙州下各市街庄に於ても市街庄官民一體となりて建國祭式典を舉行せり。

五 憲法發布五十周年記念式の舉行

昭和十三年二月十一日は憲法發布五十周年記念日に付午前九時三十分より記念式を舉行せるが、先

づ御眞影奉拜後川村知事は憲法發布の告文及大日本憲法發布の勅語を捧讀し終つて一場の訓示を與へ同十時意義深き式典を閉式せり。

六 建國の夕開催

國民精神總動員第二次強調週第一日の行事たる州市合同主催、建國の夕は二月十一日午後七時三十分より臺南市南門小學校講堂に於て開催せるが定刻前市民は既に會場に溢るゝ盛況裡に終始せり。

七 戦傷者の慰問

昭和十三年二月八日川村知事は總督代理として〇〇陸軍病院に名譽の戦傷者を見舞ひ總督よりの慰問金を傳達せり尙知事よりも別に金一封を贈呈慰問する所ありたり。

八 陸軍病院娛樂室献納指導

臺南州國防議會に於ては其の使命に鑑み銃後の務の一端として曩に州下各戸に於ける日常生活費の節約に依る國防献金募集を實施したるが今回本献金の一部を以て〇〇陸軍病院の娛樂室一棟及附屬諸設備一式を献納することとし昭和十三年二月十四日午前十一時より同病院構内に於て之が献納式を舉行せり。

九 内閣告諭及總督告諭の傳達

昭和十三年二月十四日午後四時四十五分より二月十一日憲法發布五十年記念日に際し發せられたる内閣告諭及總督告諭の傳達式を舉行し趣旨の徹底を圖る所ありたり。

○銃後の澎湖

澎湖廳臨時情報部

一 當地駐屯陸海軍將士慰問

澎湖廳銃後聯盟に於ては十二月三十一日當地駐屯陸海軍將士に慰問品として澎湖島繪ハガキ十六枚一組に全部二錢切手貼付の上に贈呈せり。

二 國防婦人會發會式舉行

大日本國防婦人會澎湖分會發會式は一月五日午前十一時より馬公街公會堂に於て要港部、要塞各司令官、廳長、聯隊長其他來賓約五十名、會員四百名出席盛大に舉行せり。

三 防空監視哨視察

林田廳長は一月三十一日廳下各防空監視哨を視察日夜防空監視に従事中の警察官及壯丁團員に對し菓子を贈り懇に慰問せり。

四 岡本部隊遙弔式舉行

二月四日〇〇岡本部隊に於て故千田少佐以下四百四十二柱の告別式舉行に付在郷軍人會馬公分會主催の下に同日午後一時より馬公公會堂に於て遙弔式を舉行せり。

五 海軍將士慰安學藝會

馬公尋常高等小學校に於ては二月六日午後三時より同校講堂に於て當地駐屯海軍將士約三百名を招待し慰安學藝會を開催將士を感激せしめたり。

美談集録(十四)

臨時情報部

三三

父は勇躍征途へ

亡き母に代つて弟妹の世話する

健氣な少女

頑くない三人の愛兒を残して、母は昨年二月世を去つた。後に残された榮村育子さん(十一歳)喜壽子さん(九歳)清隆さん(六歳)の三人は其の日から慈愛深い母との絆は断たれ父を唯一の頼みとして來たのであつた。健氣な育子さんは亡き母に代つて、弟妹の世話から炊事や洗濯に至るまで、一手に引受けて不自由ながらも平和な日を送つて居た。偶々今回の事變の勃發と共に昨年十一月、父は〇〇方面へ活躍する身となつた。母親を失つた愛兒三人は、誰が引取つて呉れるだらうか、流石の勇士も吾が兒の行末を案じて暫くは悩み苦しんでゐたが、いよいよ愛憐園に託して勇躍出征の途に上つた。出發に際し父は三人の頭を撫てながら「お父さんは今度お國の爲に出征することになつた決して泣いたり寂しがたりしてはいけない、よく體に氣をつけて勉強し、立派な人になるんだよ」「お父さん私達のこととは決して心配しないで、うんと働いて亡いお母さんを喜ばせて下さい……」父を

激勵し慰める育子さんの目には一ぱいの涙がたまつて居ました。

其の後育子さんは愛憐園で炊事の手傳は勿論、洗濯までも引受け幼い弟妹をよく可愛がり、夜は弟を抱いて寝るのであるが、夜中誤つて床を汚した時などは其の後始末をもやるなど、全く母親そのまゝの姿である。

かくする内に子供にとつて何より楽しいお正月が來た。綺麗な晴着で、両親に伴はれて町を歩く幸福な子供達の姿を眺めて、弟がしきりに父親を尋ね、亡き母を慕つて泣けば、やつとなだめすかしはするものゝ、自分も悲しくなつて來て、共に泣くことも一再ではなかつた。

紀元の佳節に當り、はからずも基隆市の教護聯盟から表彰されて、善行賞状を戴いた。常はさびしい育子さんも、この時ばかりは包み切れない喜悅の色を満面に浮べてゐたが、走るが如く愛憐園に歸つた育子さんはこれを、亡き母の佛前に供へ「お母さんお喜び下さい、今日からなほ一層しつかりやります」と誓つた。

母の遺骨は光尊寺に安置されて居るが、育子さんは、毎日曜日には必ず弟妹を連れてお参りをすゝる、何もわからぬ二人の弟妹は無邪氣にお寺を飛び廻り喜んで遊んでゐるが、育子さんは亡き母の佛前にぬかづいて、「お父さんが無事で一生懸命働いて下さるやうに」とお祈りするのである。育子さんは今までずつと成績もよく父の言葉が身に沁みてか、近頃めつきり學科の成績もよく今は副級長さへしてゐる。

正月には出征中の父からの手紙が届いたがその熱烈なる愛國の精神と切々たる恩愛の眞情とは、こ

三三

の父にしてこの子ありとの感が深い。

二四

(原文のまゝ) 育子 父は今戦地でお前達三人の事を思ひ偲んでゐる。今日まで父は忙しくて自分のことも何もかも忘れてゐて只大日本帝國の爲 天皇陛下の御爲に一生懸命に働いて来た。今日は正月二日だ、少し奉公の暇が出来たから、お前達に手紙を書いて送る。父は居なくてもお前達は一生懸命に勉強をしなければなりません。父がお國の爲に、お前達と離れて支那人と戦争をして居るとお前達が勉強してよい人になるのは、たゞ方法が違つて居る丈でめじるしは同一である。かんとんに言ふとお前達はよく勉強をするのが 天皇陛下の御爲國の爲なのです。人から勉強をせよと言はれてから勉強をしては駄目です。殊に育子は、二人の弟妹が居るから二人の手本になるやうに、なんでもよく氣をつけなさい。父が支那から歸へる時には、三人が本當によい子供になつてゐなくては支那で働いた事もお國の爲にはならないのですよ。後二箇月もすればお前も四年生になるのですから、こんども優等にならなければなりませんよ。かへすゝもお前は一番年上だからね、日頃お世話になつてゐる園長様の言付をよく守りなさい。自分で出来ることは、何でも自分でやること、決して人の迷惑になるやうな事はしないで三人仲よくする事、以上子供でもよく氣をつけて下さい。父は又四五日中に此處から他の方へ働きに行きます。當分又暇のない事と思ふからこの手紙を読みかへして、よく言ひつけを守つて下さい。

⊕ 非常時に芳しくも薫る

友情の華

臺灣八景の一、大里の景勝を沿線にもつ宜蘭線、其の終點蘇澳驛に今最終列車が着いた。職務に忠實な驛員野家七男氏は例の如く今日一日の業務を整理し終つて家路についた。

疲れて歸へる室内—そこには相抱いて眠る三人の幼児の夢圓らかな様がせめても心の慰めである。更に歩を運ぶ病室には妻が息も苦しげに喘いで居る。薬に、手當に眠も取らず看護に盡すのが毎日の習はしであつた。模範的な交通局職員である野家氏は家庭に歸れば又愛情に満つ夫であり父であつた。氏の真心こめた手厚き看護の甲斐もなく

「子供を頼みます何卒子供を！」

の一語を残して妻はあへなくも永眠した。

深い悲歎の内に野邊の送りをすまして間もない或日原隊よりの召集令状は届けられた。

「あゝ有難う」

野家氏はその令状を押し戴いて居る。見よ氏の顔は生々と血潮の色に燃えて居る。一小驛の職員として黙々として勤務して居た氏、入りては家庭の不幸に愛兒の行末を思つて悲しみに意氣鎖沈して居た氏は大命を拜受した一瞬、全てを忘れて只帝國の軍人としての決意に燃えて居るのである。炯々と輝く目、緊張した口、氏はすつくと立ち上り自宅に赴き手早く軍服をつけた。感激にふるふる手で奉公袋を握り締めた。

二五

「上司に挨拶して来よう」

と玄關に下り立つと同時に、表からかけ込んで来た三人の子が見慣れぬ父の身装に目を瞠つた。

「お父さんきれいな洋服着てどこへ行くの」

「僕もつれて行つてよ」

「あたしもつれて行つてよ」

と口々に言つて無邪気にする。

流石の勇士も鬼に涙!

皇國の爲、東洋平和の爲征衣上途する身の再び生きて歸らんとは思はず。銃後の家を守るべき母は亡く、やがては孤兒となるべき不憫な子よと思へば萬感胸に逼りて言葉もなく、軍服の腕にひしと三兒をかき抱いて途方に暮れた。喜憂二つの惱はもつれ／＼と居ても立つても居られぬ氣持であつた。

「御免」

と訪ふ聲に出て見ると、平素より親交のあつた伊藤善喜氏。

「此度の御出征日本男子として嘸御満足でございませう御目出度うございます。つきましては後にお残りのお子さんについては色々御心配の事と思ひ同僚一同相談した結果お話しに上つたのです。お家の事はどうぞ御心配なく、お子さんの事も無論です私が及ばず乍ら御引受けします。御出征に ついての御支度其の他總て御心配なく……」

渡る世間に鬼はないと言ふがこれは又何んと温情に満ちた人々であらう。

端然と坐つた膝においた兩の拳が餘りの感激餘りの喜びにふる／＼と絶えず打ちふるへた。

「御禮の言葉もございません。この上は粉骨碎身一命を捧げて皇國の爲に盡し皆さんの御恩に報います」

と野家氏が言へば

「は……何と仰有る、戦地へ行くあなたも皇國への御奉公、かく銃後の憂を多少なりとも少くしやうとする私共のお世話も矢張り御國への奉公です。何卒呉々もお家の事は御心配なき様——」

かくて伊藤氏は同僚は勿論、蘇澳街の有志を語らひ慰問金の募集、野家氏出征の準備等々物質的に精神的に援助するは勿論、幼兒三人の世話等文字通り寢食を忘れて奔走した。

愈々今日は野家氏出征の日、身を清め、心を潔めて軍服に身を固めた。伊藤氏の温情、人々の厚志に今は胸に残る憂もなく、颯爽と立てば、その威四隣を拂ふばかり、見送る人々も帝國軍人の威力をこゝに見た如き感じ、思はず發する萬歳の聲!

家を出て先づ詣でる鎮守の神前、皇國の彌榮、武運長久を祈りて立てば、静かにうねる海、朝日に映える曉雲はまるで血汐の色そのまゝに!

見よ! 暴虐の敵この腕のつゞく限り存分にきつてくれるぞと思はず、にらむ天の彼方!

見返ればそこには愛兒が心から信頼し切つた様子で伊藤氏により添つて父の武者振を見て居る。かくして氏は銃後の人々の赤誠によつて勇躍征途に上つたのである。

附 錄

事 變 日 誌

臨 時 情 報 部

一月三十日

1. 明光より北進せる添田部隊、大韓庄を占領、一部隊は玉山・燃燈寺を占領せり。
2. 冀東政府、臨時政府へ合流に就て準備中、本日歴史的調印を完了し二月一日合流するに決せり。
3. 廣東省黃埔(水雷軍・機雷軍)・洛陽(新舊飛行場)十機撃墜・八機地上爆破・我が一機損失)に空爆を加へたり。

一月三十一日

1. 添田部隊、崗李家(明光西北)及君陳庄一帯を占領し一路北進中なり。
2. 大韓庄を突破せる一部隊、郭蘭子(明光西北)に迫れり。

二月一日

3. 片山部隊、山東省東北地區一帯清掃の爲青島を進發せり。
4. 竹川部隊、山東省濰州東方に於て四百の紅槍會匪を撃破せり。
5. 再度洛陽に空襲を加へたり。
6. 一月中に於て敵機撃墜數

擊 墜	三三機
地上爆破	八一機
小 計	一一四機
果 計	六九二機
我が損失	六五機

1. 津浦線北進中の倉林・田代部隊、鳳陽南方一杆の線に達せり。
2. 添田部隊、津浦線の要衝臨淮關を完全に占領し、先遣隊は北方八杆の二鋪に達せり。
3. 山東省東北地區清掃の爲沖快速部隊は青島を進發、萊陽縣城を占領せり。
4. 京漢沿線の匪賊續々歸順せり。

郭清軍一四千。程希蒙軍一三千。王白全軍一二千。紅槍會匪一約六千。

5. 大場部隊、濟南東南方龍洞莊に於て八十の紅槍會匪を撃破せり。
6. 廣東省、共產軍領袖葉劍英の活動により右派制壓され赤化の一途をたどりつゝ、あり。
7. 寧波浙江省・玉山(浙贛線)・鳳陽に對し空爆を加へたり。

二月二日

1. 倉林・田代部隊、鳳陽を完全に占領、左翼の兩角部隊定遠を占領せり。
2. 津浦線上の重要根據地蚌埠をも完全に占領せり。

二月三日

3. 沖快速部隊、樓霞を突破し福山縣城に突入せり。
4. 蚌埠及懷遠附近の敗走兵に對し空爆を加へたり。
1. 添田部隊蚌埠を進發、孫家營(蚌埠西南約四十杆)・上窪(蚌埠西方十杆)を突破、淮河を渡河し懷遠城を占領せり。
2. 定遠を突破破竹の勢を以て北進中の兩角部隊武店(定遠西北約三十杆)にて有力なる敵部隊を撃破せり。
3. 沖部隊の酒井先遣隊、芝罘を完全に占領せり、本隊も入城せり。
4. 我が海軍陸戰隊芝罘に上陸せり。
5. 山東省を南下せる我が軍、諸城を占領せり。
6. 沖部隊の兩獲品左の如し。
歩兵砲二門、洋砲二門、小銃百三十二挺、手榴彈一千發、小銃彈三千發。
7. 新政府、朝鮮總領事范漢生氏及び新義州・元山・釜山各領事に對し新に任命の發令をなせり。

二月四日

1. 倉林・添田部隊、蚌埠西南方の谿谷中に於て敵一

- 1. 簡師を包圍、殲滅戦を展開せり。
- 2. 芝罘市治安回復し張化南市長の就任式を舉行せり。
- 3. 廣東省の珠江封鎖さる。
- 4. 我が空軍廣東省を襲ひ、黃埔、粵漢廣九兩線、白雲飛行場を爆撃せり。

二月五日

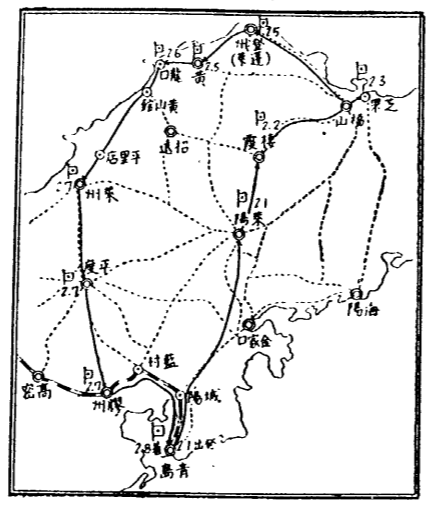
- 1. 沖部隊、芝罘を進發登州を占領、相次いで黃縣を占領せり。
- 2. 劉湘の死後、中央系の張群主席任命に對し四川軍「四川省は四川人の手で」のスローガンの下に反對、衝突を惹起し不穩の状態なり。
- 3. 三日以來廣東に暴動續き暗雲低迷せり。
- 4. 蔣介石、「外海の防禦に民族の復興」を題する四年前の論文を提出し、士氣鼓舞に大奮なり。
- 5. 我が空軍、珠江灣口・唐家環附近（澳門北方）粵漢・廣九兩線を爆撃せり。

二月六日

- 1. 沖部隊、黃縣四方の龍口を占領せり。
 - 2. 兩角部隊、武店東北の劉庄附近に於て千五百の敵を撃破せり。
 - 3. 淮河大會戰に於て敵の遺棄死體七千、負傷推定一萬六千に及べり。
 - 4. 上海抗日テロ團首魁陸軍章を逮捕死刑に處せり。
- 二月七日
- 1. 島都臺北に於て全島華僑代表二千數百名參集、全島華僑大會を開催、國府離脱、新政府支持を祝福せり。尙中華會館を解消し華僑新民公會の發會式を盛大に舉行せり。
 - 2. 京漢沿線の我が軍進撃を開始し、坂西部隊南樂縣城（大名南方）を占領、永山快速部隊は城内の掃蕩を完了せり。
 - 3. 沖部隊、萊州・平度を突破膠州に達せり。
 - 4. 虹口、楊樹浦方面へ支那居住民の復歸及び所有物品の搬出を許可せり。
 - 5. 廣東の反亂に應じ三水に於ても保安團長鹿興芳が

叛旗を翻へしたる模様なり。

沖部隊山東半島掃蕩圖



二月八日

- 1. 坂西部隊、清豐縣城を占領せり。
- 2. 沖部隊、全行程六百軒を踏破、掃蕩を終り青島に歸着せり。
- 3. 支那北四省の回教徒、今次事變を契機として多年の熱望たる民族解放・防共を實現すべく五馬聯盟積極的に動き出せり。

二月九日

- 1. 田尻部隊に従屬活動中の本島人軍夫、金一萬圓を隠出、國防献金を願出、皇軍絶讚の的となれり。
 - 2. 我が空軍左の地點を空爆せり。
 - 3. 淮河北岸の敵部隊・漢口（兵工廠・大工場）・宜昌（貯油庫・格納庫二種及五機庫）・廣東（軍用貨車・道路）。
 - 1. 陝西・安田・石田・永山各部隊、濮陽（開州）城に入城せり。
 - 2. 河北省南部の地方士民軍中臨清附近に於て蔡倍徳の率ゐる約二萬の地方軍歸順を申出で、新政府と皇軍に忠誠を誓ひ「第一皇民軍」を組織せり。
 - 3. 左の地點を空爆せり。
- 長沙（四機庫）・湖北省襄陽（二十機と空中戦内五機庫）・福建省建甌（建甌）及浦城・河南省南陽・安徽省安慶。
- (以下次號)

防空思想普及の一助

臨時情報部

航空機の異常なる發達に伴ひ、將來の戰爭時に於て空襲の危険性が増大したことに鑑み、國土の防空を軍防空のみに依頼することは決して其の完璧を期する所以でないこと、國民防空が極めて重要な役割を占むことは當然である。斯かる見地から我國に於ても昨昭和十二年四月防空法が公布せられ、内地は十月外地は十一月から一齊に施行を見るに至つたことは國土防衛上洵に欣ばしきことであるが、防空法は單に役人のみの法律ではなく又官公署や公共團體だけで處理する防空事務に關する法律でもない。即ち國民全般が一應の正しき理解と認識を持ち官民協力一體となり一絲亂れざる制度の運用が期せられねばならぬのである。然るに防空法は其の條文の少きに拘らず内容比較的複雑にして、殊に夫れを附屬法令まで一貫して制度の趣旨や條規の解釋を理解すること

は必ずしも容易でないと言はれる。臺灣總督府滿當事務官著、臺灣防空法規解説は實際事務擔當者の執務參考の爲のみならず汎く防空思想の普及と云ふことに重點を置き成るべく一般の人の理解にも資すべく平易に内容を解説することに心懸けて纏めた業績であり、防空法規の解説書として公刊されたものとしては恐らく本書を以て嚆矢とするであらう。又防空計畫に付て其の設容内容の汎例を具體的に示したところ、防衛團に付て將來への示唆を含む實際問題の二三を論じたことは特に實際事務擔任者の喜びとするところと云はねばなるまい。參考書先例等の甚だ妙い今日、世の實務家は勿論國民一般に對し一讀を推奨するに足るものと認められる。

(四六版二五〇頁金堂圖書社發行所發行)
臺灣防空法規解説(刊行所發行)

昭和十三年二月十九日印刷
昭和十三年二月二十一日發行

(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地
印刷人 加藤 豊吉
臺北市京町二丁目四十三番地
印刷所 小塚本店印刷工場